

# 衆議院文部科学委員会ニュース

平成 26. 4. 2 第 186 回国会第 9 号

4 月 2 日（水）、第 9 回の委員会が開かれました。

## 1 著作権法の一部を改正する法律案（内閣提出第 73 号）

- ・ 下村文部科学大臣、古川財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・ 参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）一般社団法人日本書籍出版協会理事長

株式会社小学館代表取締役社長

相 賀 昌 宏君

日本大学大学院知的財産研究科教授

土 肥 一 史君

写真家

一般社団法人日本写真著作権協会常務理事

瀬 尾 太 一君

（質疑者及び主な質疑内容）

（政府に対する質疑）

### 馳 浩君（自民）

- ・ 出版関係者から懸念が示されている、単に配信を行う事業者に対する著作権の設定ができるかどうかについて、大臣の見解を伺いたい。
- ・ インターネット送信のための著作権の内容に、複製権が含まれていない理由と、海外の海賊版対策について、大臣の見解を伺いたい。

### 中 野 洋 昌君（公明）

- ・ 今でも行われている電子出版に、新たに著作権が設定されることにより、何が一番変わるのか。施行に当たり混乱が生じないようにすべきと考えるが大臣の見解を伺いたい。
- ・ 海賊版被害が多い中、漫画・アニメなどのコンテンツの輸出をどのように推進していくのか。デジタルコンテンツの著作権被害対策に対する大臣の決意を伺いたい。

### 中 川 正 春君（民主）

- ・ 紙か電磁的記録かという媒体の違いによらず、著作物の中身であるコンテンツを重視し、現行の著作権をインターネットによる公衆送信に拡張すべきと考えるが、文化庁の見解を伺いたい。
- ・ グーグルやアマゾンのようなプラットフォームも著作権者となり、1社が独占権を持ち得るとすると、著作物の流通の妨げとなりユーザビリティを損なう可能性があるが、文化庁の見解を伺いたい。
- ・ 第80条第1項の「著作権者が権利の全部又は一部を専

有する」旨の規定の解釈について、第1号の複製権及び第2号の公衆送信権の両方又はいずれかという趣旨か、各号の中でさらなる細分化を認めるのであればその具体例について、文化庁の見解を伺いたい。

### 鈴 木 望君（維新）

- ・ 海賊版による被害が最も大きいとされる雑誌について、出版者に差止請求権を与えようとして文化審議会著作権分科会出版関連小委員会においてなされた「特定の版面」や「みなし侵害」の議論が本法律案に反映されなかった理由を伺いたい。
- ・ 電子書籍の97%が紙媒体を底本とする実態に鑑み、電子書籍を紙による出版の延長と捉えて著作権は一体的に扱うべきとする小委員会の議論が本法律案に反映されなかった理由を伺いたい。
- ・ 出版の重要な役割である企画・編集・校閲等を行わず、公衆送信のみを行うプラットフォームに対しても著作権を与え得ることとした理由を大臣に伺いたい。

### 青 木 愛君（生活）

- ・ 著作権者の保護に関し、まず海賊版対策について、今回の法改正により見込まれる効果について文化庁に伺いたい。次に、コンテンツ輸出促進との関係で、国としての今後の取組について、また、電子出版契約書のひな型作りに対する国の支援の必要性について文化庁に伺いたい。
- ・ レコード会社等に付与している著作隣接権について、出版者にも付与することを議論しながら、結局付与しないと結論付けた理由を伺いたい。

## 吉川 元君（社民）

- ・紙媒体の書籍と電子書籍の出版権者が異なる場合、企画・編集等を行うのが紙媒体の出版者だけであれば労力等の面で不公平が生じるのではないかと指摘について、大臣の見解を伺いたい。
- ・再販制度の適用外となる電子書籍と紙媒体の書籍との不均衡の問題と、電子書籍を海外から配信する事業者の消費税の扱いについて、それぞれ政府の見解を伺いたい。

（参考人に対する質疑）

## 馳 浩君（自民）

- ・電子書籍の普及により、新人の発掘から始まる出版の一連のプロセスがないがしろにされるとの懸念について、相賀参考人の見解を伺いたい。
- ・出版契約においては、出版者が優越する傾向があり、出版ADRの創設が重要になるが、著作者が望む出版ADRの在り方について、瀬尾参考人の見解を伺いたい。
- ・出版権の登録制度の促進に向けた方策及び紙媒体の書籍と電子書籍の価格設定に対する見解について、土肥参考人に伺いたい。

## 笠 浩史君（民主）

- ・電子海賊版への対応など、今回の改正案で措置されなかった問題を解決するために考えられる具体的な施策について、相賀参考人に伺いたい。
- ・現状において、雑誌を構成する著作物についてはほとんど出版権設定契約が結ばれていないが、今後、契約を結んでいく必要性や法改正により契約が促進される見通しについて、瀬尾参考人の見解を伺いたい。
- ・今後の実効的な海賊版対策及びみなし侵害規定を検討する場合の課題について、土肥参考人に伺いたい。

## 鈴木 望君（維新）

- ・企画・編集・校閲というこれまで出版者が担ってきた役割を維持するための方策について、相賀参考人及び土肥参考人に伺いたい。
- ・出版者が担ってきた役割も重要であるが、何よりも著作者の権利が重要と考える。両者が良好な関係を維持するための方策について、瀬尾参考人の見解を伺いたい。
- ・今後は、契約の在り方が重要になると考えるが、契約を標準化することについて、各参考人の見解を伺いたい。

## 中野 洋昌君（公明）

- ・現在出版者が行っている海賊版対策及び法改正が現状に及ぼす影響について、相賀参考人に伺いたい。
- ・海外で行われる電子海賊版送信等に対する有効な対策について、土肥参考人の見解を伺いたい。
- ・日本のコンテンツを海外に発信するための政府による支援策、特に、若い著作者の経済状況を向上させる方策について、瀬尾参考人の見解を伺いたい。

## 柏倉 祐司君（みんな）

- ・出版に対する出版者の貢献に関し、著作物が刊行に至るまでの間に出版者が行う業務について、相賀参考人に、どの時点でどのような労力が必要か等具体的に伺いたい。
- ・電子書籍に係る出版権に関し、審議会の議論に際して紹介された諸外国の事例が必ずしも法改正を必要としないにもかかわらず、今回法改正を行うこととした理由について、各参考人の見解を伺いたい。

## 井出 庸生君（結い）

- ・出版者におけるインターネット上の海賊版対策に要する人員及び時間について、相賀参考人に伺いたい。
- ・ナショナル・アーカイブス構想を推進する際の障害について、瀬尾参考人の見解を伺いたい。
- ・具体的な出版契約のガイドラインの内容等について、土肥参考人の見解を伺いたい。

## 宮本 岳志君（共産）

- ・実際のインターネット上の海賊版被害額について、相賀参考人に伺いたい。
- ・文化審議会著作権分科会出版関連小委員会において検討された出版者への権利付与策四案に関する議論の内容について、瀬尾参考人の見解を伺いたい。
- ・出版者によるインターネット上の海賊版対策として著作隣接権や訴権の付与ではどのような不都合があるか、土肥参考人の見解を伺いたい。

## 青木 愛君（生活）

- ・それぞれの立場において、これまでインターネット上の海賊版にいかに対処してきたのか、各参考人に伺いたい。
- ・出版者に著作隣接権が付与された場合のメリット・デメリット及び付与されない理由について、各参考人の見解を伺いたい。

## 吉川 元君（社民）

- ・今後の紙の書籍と電子書籍の価格の見込みについて、相賀参考人の見解を伺いたい。
- ・電子書籍は紙の書籍と異なり再販制度の対象とならないことから、同一の内容のコンテンツであっても、紙の書籍と電子書籍とで価格が異なる可能性があることについて、土肥参考人の所感を伺いたい。
- ・グーグルブックサーチ訴訟の和解案において、書籍に挿入された写真が著作物として認められず、対象外とされたことについて、瀬尾参考人の見解を伺いたい。